

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

1 目的

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価は、地域内フィーダー系統確保維持計画に位置付けられた補助対象事業等について、事業の性質に応じ、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的・効率的に推進されることを目的とする。

2 実施方法

(1) 自己評価（一次評価） ← **今回実施**

毎年度、加西市公共交通活性化協議会が、自ら事業の実施状況の確認、評価を行い、当該評価の結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、神戸運輸監理部に報告するとともに公表する。

(2) 二次評価

自己評価（一次評価）等を基に二次評価を行う。

地方運輸局等において、当該評価の客観性・妥当性を担保するため、学識経験者等の有識者等からなる第三者評価委員会を設置し、二次評価案について審議する。地方運輸局等は、その結果を踏まえて評価を実施する。

3 自己評価の評価項目

令和5年10月1日から令和6年9月30日までのKASAIねっぴ〜号の運行実績等について、以下の項目を評価する。

- (1) 前回の事業評価結果の反映状況
- (2) 事業実施の適切性
- (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画における目標・効果の達成状況
- (4) 事業の今後の改善点

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月17日

協議会名:加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)																											
加西市公共交通活性化協議会	コミュニティバス「KASAI ねっぴ〜号」の運行 6系統 ・市街地線①② ・国正線 ・九会線①②③	・高齢者、運転免許返納者及び子育て世帯に対する運賃無料化施策の実施 ・総合時刻表「かさいおでかけナビ」の更新・配布 ・公共交通総合HP「NAVIGOかさい」の制作 ・主要バス停、待合所へのデジタルサイネージの設置 ・小学生を対象としたおえかきバス及び乗り方教室の実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【利用者数の目標】 <table><tr><th>路線</th><th>目標</th><th>実績</th></tr><tr><td>市街地線①②</td><td>12,000人</td><td>> 10,101人</td></tr><tr><td>国正線</td><td>2,700人</td><td>< 2,735人</td></tr><tr><td>九会線①②③</td><td>4,100人</td><td>> 3,816人</td></tr><tr><td>計</td><td>18,800人</td><td>> 16,652人</td></tr></table> 【利用者1人当たりの行政補助額の目標】 <table><tr><th>路線</th><th>基準</th><th>実績</th></tr><tr><td>市街地線①②</td><td>2,000円</td><td>> 1,746円</td></tr><tr><td>国正線</td><td>2,000円</td><td>< 2,557円</td></tr><tr><td>九会線①②③</td><td>2,000円</td><td>> 1,709円</td></tr></table> 利用者数としては目標値に届かなかったものの、加西市が目指す「市民が住みやすく、外出しやすいまち」を実現するために、国正線沿線での地域主体型交通の運行をはじめ、市内各地で地域主体型交通の導入を積極的に推進した。これにより、幹線・フィーダー交通を補完し、サービス水準を維持することができた。特に、必要な時に必要な人が利用できるといふ地域交通としての役割を適切に果たすことができた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した利用者数についても、感染症対策を徹底し路線の減便を行うことなく運行を維持した結果、市街地線では8,381人(R3)から10,101人(R6)、国正線では2,309人(R3)から2,735人(R6)、九会線では3,345人(R3)から3,816人(R6)と、順調に利用者数を回復させることができています。	路線	目標	実績	市街地線①②	12,000人	> 10,101人	国正線	2,700人	< 2,735人	九会線①②③	4,100人	> 3,816人	計	18,800人	> 16,652人	路線	基準	実績	市街地線①②	2,000円	> 1,746円	国正線	2,000円	< 2,557円	九会線①②③	2,000円	> 1,709円	国正線沿線の宇仁地区では、地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」が令和2年10月に運行を開始し、隣接する日吉地区では「日吉地区乗り合いタクシー」が令和4年3月から運行を開始した。さらに、令和5年7月からは富田地区にて「とみバス」が運行を開始するなど、地域主体型交通の導入が順調に進んでいる。 今後も、ねっぴ〜号国正線と地域主体型交通が連携して、地域の移動困難者の解消に向けた取組を続けていく予定である。また、令和6年4月からは市内3箇所の工業団地への乗り入れや増便など、企業の需要に応じたコミュニティバス路線・ダイヤの見直しの検討を開始した。引き続き、市内の公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、適切なコミュニティバスの路線再編を検討していく予定である。
路線	目標	実績																														
市街地線①②	12,000人	> 10,101人																														
国正線	2,700人	< 2,735人																														
九会線①②③	4,100人	> 3,816人																														
計	18,800人	> 16,652人																														
路線	基準	実績																														
市街地線①②	2,000円	> 1,746円																														
国正線	2,000円	< 2,557円																														
九会線①②③	2,000円	> 1,709円																														

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月17日

協議会名：	加西市公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	加西市の公共交通は、市のほぼ中央に位置する北条町駅を基点に放射状に広がっており、北条鉄道(南～南東方向)、地域間幹線の路線バス(北西、東、南、西方向)、及びタクシーによる移動手段があります。また、北条町を東西に通じる中国自動車道を利用して、京阪神や津山を結ぶ高速バスも運行されています。これらの交通手段を補完する形で、市内の移動手段としてコミュニティバスも運行していますが、住民の公共交通利用は全体の5%に過ぎず、低水準にとどまっています。一方で、住民の約3割と推計される高齢者(70歳以上)や運転免許を持たない人、世帯に自動車がない人など、自動車を気軽に利用できない方々の日常生活における移動手段の確保が課題となっています。 令和5年3月に策定された加西市地域公共交通計画では、基本理念として「皆で協力して創る未来に拓かれた人と人をつなぐ公共交通～一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして～」を掲げ、住民の日常生活における移動手段の確保と地域内の交流促進を目指しています。そのため、計画に基づく施策や事業を実施し、公共交通サービスの向上を図ります。これにより、住民の生活の質を向上させ、地域の活性化を推進することを目指します。

加西市公共交通活性化協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

【地域特性】

（人 口） 昭和 61 年度の 53,056 人をピークに減少し、令和 6 年 9 月末では 41,589 人（前年比-0.95%）になっており高齢化率は 35.2%となっている。

（産 業） 加西市総生産額 2,575 億円（R3）のうち、第二次産業、特に製造業が 55.8%を占めている。市内には 5 か所の産業団地等があり、大規模事業所も立地しているが、従業員 10 人未満の事業所が市全体の約 80%を占め、中小事業所を中心とした「ものづくりのまち」である。

【加西市地域公共交通計画（R5～R9 年度）】

（基本理念）『皆で協力して創る未来に拓かれた人と人をつなぐ公共交通』

～一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして～

（基本方針）・みんなが利用しやすい公共交通網の構築

・利便性の高い公共交通結節点の整備

・地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

・市外からの人も愉しみ回遊する公共交通での環境づくり

（計画の目標）

クルマを気軽に利用できないなど公共交通を必要としている人の移動需要に対応するため、市民・交通事業者・行政の三者が連携して計画に示す施策事業を実施することで、「ネットワーク」「ダイヤ・本数」「運賃」「車両」「駅バス停環境」「情報」の 6 要素において利用しやすく、受益と負担のバランスのとれた持続可能な公共交通サービスの構築をめざす。

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添「加西市公共交通マップ」

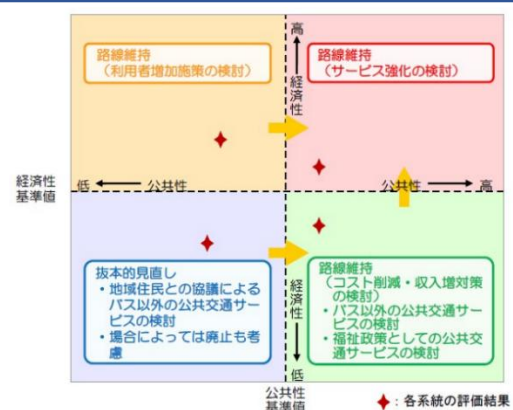
2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

【路線評価の基本的考え方と評価基準】

路線の評価は、財政的な側面での評価及び地域住民の移動の手段の確保といった社会的な重要度に関する評価の 2 つの指標を用いて路線ごとに行う。

①経済性評価：利用者 1 人当り行政補助額
基準値 2,000 円/人

②公共性評価：沿線世帯当り年間乗車回数
基準値 2.0 回/世帯



3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

【ねっぴ〜号】（運行事業者：神姫バス㈱）

主に中心市街地内の移動を支えるコミュニティバスとして運行。大規模商業施設や観光地、鉄道駅、高速バス停、病院、市役所等の公共施設を結び、市街地内の回遊性を高めるとともに、郊外にある交通結節点と結ぶことにより中心市街地へ行きやすくする役割を担う。また北条町駅から放射状に伸びる鉄道や幹線バスを補完している。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダーシステム補助事業	協議会	R5. 10 ～R6. 9	フ	市街地内の移動と路線バスを補完するねっぴ〜号の運行

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
公共交通総合ホームページ制作事業 (デジタル田園都市国家構想交付金)	協議会	R5. 4 ～R7. 3	デジタル技術を活用し、市内公共交通機関の情報を総合的に発信するための総合ホームページを制作
おえかきバス事業 (デジタル田園都市国家構想交付金)	協議会	R5. 4 ～R7. 3	バス車体の左側面を巨大なキャンバスに見立て、沿線の子供達に自由に絵を描いてもらい、公共交通に親しみをもってもらうとともに若年層の利用促進を図る。
電動キックボード体験事業 (デジタル田園都市国家構想交付金)	協議会	R6. 8 ～R6. 10	多様な移動手段の確保に向け、電動キックボードの体験試乗会を開催。二次交通としての可能性を調査
北播磨広域定住自立圏公共交通広域連携調査・研究事業 (複数市町等共同研究事業助成金)	加西市、 外 3 市町	R5. 11	地域公共交通の再編に向けたコミュニティバスの運営やモビリティマネジメントの先進的取組に対する視察研修を実施 (視察先)・愛知県幸田町 ・大阪府枚方市

地域主体型交通運行事業 (加西市地域主体型交通運営費補助金)	地域団体	R2. 10～	交通空白地の解消を目指し、地域団体が主体となり自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）を運行 ・宇仁ふれあいバス R2. 10～運行開始 ・日吉地区乗り合いタクシー R4. 3～運行開始 ・とみバス R5. 7～運行開始
-----------------------------------	------	---------	---

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
総合時刻表更新事業	協議会	R6. 1 ～R6. 3	鉄道、路線バス、コミバス等の統一時刻表を 18,000 部作成。市内全戸に配布
市内バス無料乗車券配布事業	加西市	H28. 11～	高齢者や免許返納者、子育て世帯等を対象に市内で利用できるバス無料乗車券を配布
コミュニティバス路線・ダイヤの見直し検討事業	加西市	R6. 6 ～R7. 3	市内に立地する企業や駅・病院等でのアンケート調査や、主要な公共交通利用企業へのヒアリング調査を実施し、コミュニティバス路線の見直し方針を検討
北条鉄道利用促進事業	加西市	R6. 4 ～R7. 3	通勤定期券購入者に対して最高 31,000 円相当の地域ポイントを付与

（３）生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「（２）目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
市内バス無料乗車券配布事業	高齢者（75 才以上）や運転免許返納者、子育て世帯等を対象に市内で利用できるバスの無料乗車券を配布	・コミバスの利用者数の増加 ・免許返納の促進

北条鉄道利用促進事業	北条鉄道の通勤定期利用者の増加と地域商業の活性化を目的に、通勤定期購入者を対象に地域通貨「ねっぴ〜ポイント」を付与	公共交通利用者数の増加
公共交通総合ホームページ制作事業	市内公共交通情報を集約し、デジタルを活用したリアルタイムの交通情報の提供を実現	公共交通利用者数の増加
コミュニティバス路線・ダイヤの見直し検討事業	公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、雇用機会の創出や地域経済の活性化を目的に市内企業への需要把握調査を実施 ・工業団地内の企業・従業員へのアンケート調査 ・主要な公共交通利用企業へのヒアリング調査 ・利用者アンケート調査	公共交通利用者数の増加
地域主体型交通運行事業	交通空白地の解消を目指し、地域団体が主体となり地域住民の移動手段確保を目的に自家用有償旅客運送を運行	・移動困難者の減少 ・免許返納の促進

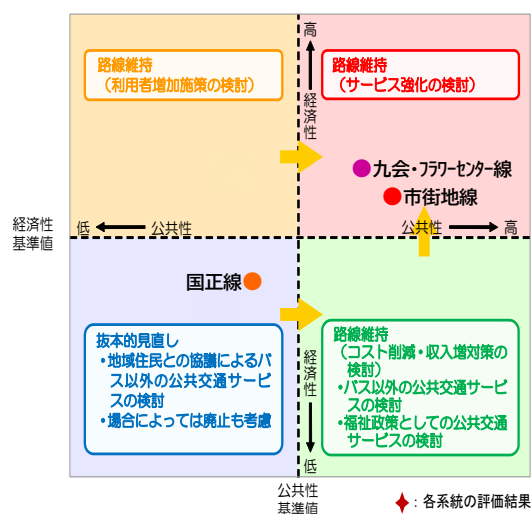
4. 具体的取組に対する評価

【地域内フィーダー系統補助事業の評価】

路線名	経済性評価	公共性評価
KASAI ねっぴ〜号		
市街地線	1,746 円 (1,879)	3.3 回 (3.3)
国正線	2,557 円 (3,293)	1.0 回 (0.9)
九会・フラワーセンター線	1,709 円 (1,768)	2.4 回 (2.5)

※ () 内は前年度評価数値

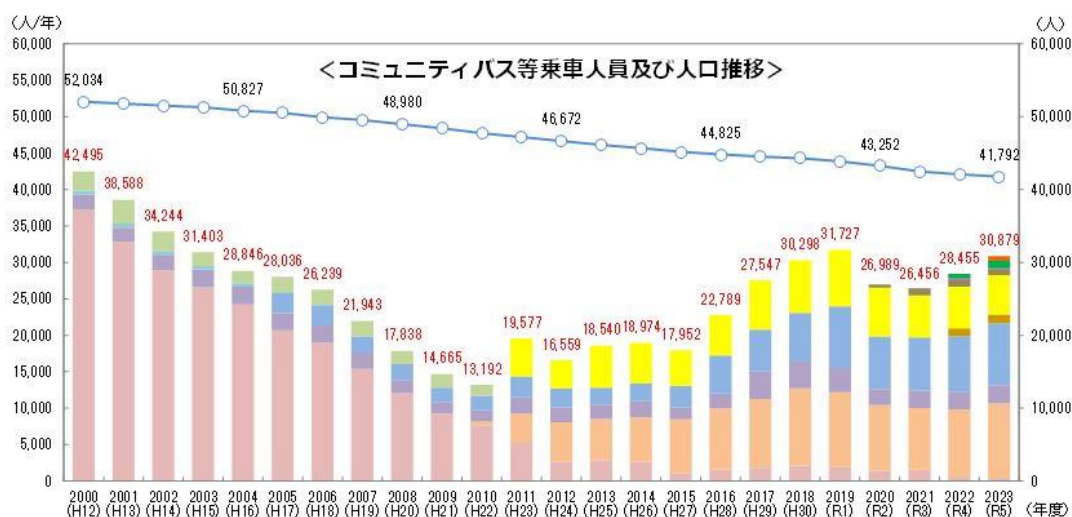
※ 乗継券・無料乗車券等を運賃収入に換算



事業評価の結果、利用者数は前年度に比べて 545 人増加した。路線別では、市街地線と国正線の利用者数が増加した一方、九会・フラワーセンター線では僅かに減少している。また、ほぼすべての路線で経済性及び公共性の指標は前年度より向上したものの、国正線においては両指標とも基準を下回り、目標を達成できなかった。

なお、これらの基準となる指標に関しては、昨今の人件費の高騰や物価上昇を踏まえ、実態に即した見直しが必要と考えている。

< 参考資料 >



上図は、加西市のコミュニティバス等の乗車人員と市内人口の推移を示している。市内人口が減少する中、平成 23（2011）年度のはっぴーバス導入などの施策により乗車人員はU字回復したが、令和 2（2020）年度から新型コロナウイルスの影響で一時的に減少することとなった。令和 4（2024）年度は、再度増加に転じ、コロナ禍前の乗車人員に戻りつつある状況である。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
KASAI ねっぴ〜号の国正線は、経済性・公共性評価がともに基準値を下回っており、利用者増加施策や路線の縮小の検討などが必要である。	国正線沿線の宇仁地区では、令和2年10月から地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」の運行が始まっている。利用者数は令和2年度に874人、令和3年度に1,071人、令和4年度に871人、令和5年度には812人と推移しており、僅かに減少している。しかし、KASAI ねっぴ〜号国正線の利用者数が増加傾向にあることから、宇仁ふれあいバスが沿線住民の移動の選択肢を増やす役割を果たしていることが伺える。今後も、宇仁地区の移動困難者の解消と地域全体のサービス向上を目指し、宇仁ふれあいバスとKASAI ねっぴ〜号国正線が連携した取組を推進していく。

加西市公共交通活性化協議会（これまでの経緯）

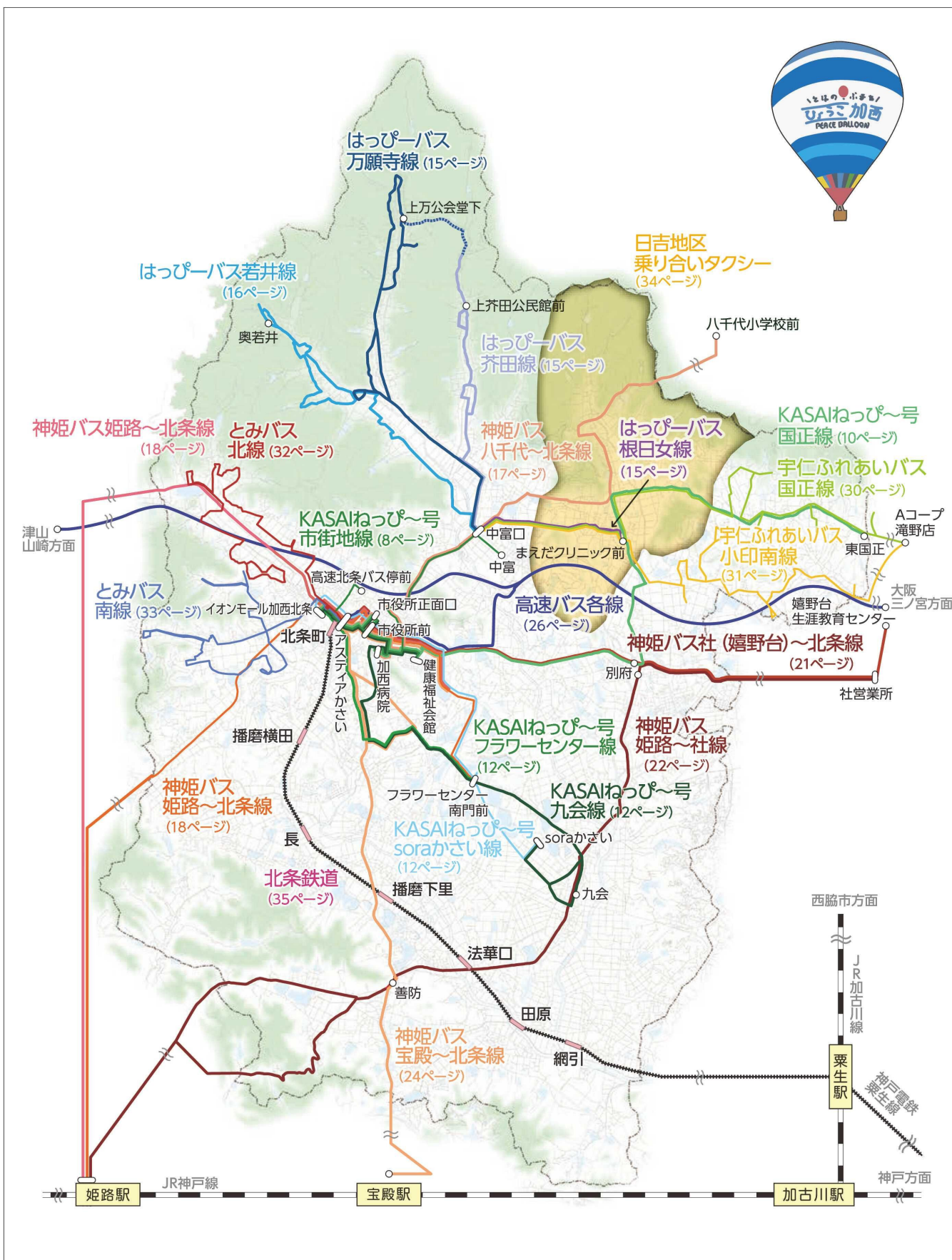
1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 今後も、沿線の新規利用者の開拓、利用状況及び利用者ニーズの把握・分析等を行うことにより、地域に見合ったより効果的な利用促進を図るとともに、地域の移動手段を確保されることに期待する。	・新規利用者の開拓については、交通事業者とともに若年層へのバス乗り方教室などを行い、周知活動を積極的に展開する。 ・地域主体型交通については、地域のまちづくり協議会と協議を重ね、導入に向けて積極的にサポートを行う。	公共交通の利用状況等を引き続き把握するとともに、これまでの成果を活かしてモビリティマネジメントにも力を入れ、利用継続の促進や新規利用者の開拓に努める。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

- ・「地域主体型交通導入の手引き」を策定し、公共交通空白地解消に向けた支援を実施するなど、単に利用者数や収支だけでなく、その根本となる市民の生活の部分から検討を行っている。
- ・後期高齢者、免許返納者、子育て世帯等を対象とした無料乗車券を継続して発行した。
- ・公共交通が移動の選択肢となるように、より具体的な情報提供を行うため、各交通機関の時刻表を統一し、利用方法などを案内する公共交通総合ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、全戸に配布した。
- ・市内公共交通情報を集約し、デジタルを活用したリアルタイムの交通情報の提供を実現するため公共交通総合ホームページ「NAVIGO かさい」を開設した。
- ・令和4年4月の地域活性化拠点施設 sora かさいのオープンに合わせて、市街地から市内観光地を巡る観光便として、コミバス KASAI ねっぴ〜号に土休日ダイヤを導入した。また、市役所正面口に新たにバス停を設置し、市民の利便性向上を図った。
- ・公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、雇用機会の創出や地域経済の活性化を目的に、コミュニティバス路線・ダイヤの見直しの検討を開始した。
- ・安心してコミバス KASAI ねっぴ〜号に乗車できるように、バスロケーションシステムを導入し、乗降者が多いバス停や待合所にデジタルサイネージを設置した。
- ・地域主体型交通の導入について、地域団体と連携して検討を重ね、R2年10月から宇仁ふれあいバス、R4年3月から日吉地区乗り合いタクシー、令和5年7月からはとみバスが運行を開始し、既存のコミバス路線との連携による利便性の向上を図った。
- ・協議会等を通じて現状把握を行いながら、関係者間の意思疎通を図りつつ、計画に定めるPDCAを実施している。

加西市公共交通マップ



※) 数値地図50000(国土地理院)を加工して作成
出典) 国土地理院発行5万分1地形図

市内の公共交通ご案内

KASAIねっぴ〜号



現金/定期券(通勤・通学)/市内バス無料乗車券
ICカード(NicoPa・PiTaPa・ICOCA など)
はっぴーバス・うにバス・ひよタク・とみバスからの乗り継ぎ乗車券
加西市政策課 ☎0790-42-8700
神姫バス(株)北条出張所 ☎0790-42-0056

はっぴーバス



乗車定員
13人

現金/回数券/市内バス無料乗車券
【運行に関するお問合せ】
NPO法人原始人の会 ☎0790-44-0150
加西親栄自動車(株) ☎0790-44-0440
【忘れ物のお問合せ】
加西親栄自動車(株) ☎0790-44-0440

神姫バス



現金/定期券(通勤・通学)/市内バス無料乗車券
ICカード(NicoPa・PiTaPa・ICOCA など)
はっぴーバス・うにバス・ひよタクからの乗り継ぎ乗車券
(八千代北条線の中富口~北条市街地間)
神姫バス(株)北条出張所 ☎0790-42-0056

高速バス



現金/回数券/定期券(通勤・通学)
ICカード(NicoPa・PiTaPa・ICOCA など)
神姫バス(株)北条出張所 ☎0790-42-0056
西日本ジェイアールバス(株)お客様センター ☎0570-00-2424
(株)ウイング神姫 ☎0790-62-1720

宇仁ふれあいバス(うにバス)



現金/回数券
【運行主体】
宇仁郷まちづくり協議会 ☎090-8380-2223

とみバス



現金/回数券
【運行主体】
富田まちづくり協議会 ☎0790-20-0748

日吉地区乗り合いタクシー(ひよタク)



現金/回数券
【運行主体】NPO法人 日吉の輪
【予約】☎090-9114-1419
【お問合せ先】ひよタク事務所 ☎080-3102-1419

北条鉄道



現金/回数券/定期券(通勤・通学)
北条鉄道(株) ☎0790-42-0036

タクシー



現金/タクシーチケットなど
《市内の事業者》
はくろタクシー(株)加西北条営業所配車センター ☎0790-45-3535
《市外の事業者》
ファイブスタータクシー(株)(旧:播州交通(株)) ☎0120-720-846

加西市地域公共交通計画（2023-2027）

Business Report for 2023

令和5年度 事業報告

加西市公共交通活性化協議会

事業① 地域主体型交通の導入及び維持改善

■ 富田地区地域主体型交通「とみバス」運行開始

運行主体：富田まちづくり協議会
運行方式：定時定路線 2 路線（北線・南線）
運行曜日：月・火（8便／日）
利用料：200円／回
車 両：トヨタノア（7人乗り）1台
運転手：8人
運行開始：R5.7.4～試験運行、9.4～本格運行
利用者数：年間687人（運行日数70日）
1日当たり9.8人



R5.7.3出発式の様子

■ 在田地区地域主体型交通導入に向けた検討

○アンケート結果の概要
【アンケート実施時期】 令和4年10月
【移動に困っている人】 247人/3,539人 **7.0%**
※参考 宇仁5.1% 日吉4.4% 富田9.6%
【公共交通最大需要量】 10.02回>2回（基準）

○検討状況
【主体】 在田あいあいまちづくり協議会 生活福祉部会
【検討会議】 全3回（7/20・8/24・9/19）
⇒ 既存公共交通を活用しつつ、「下里地区はつらつツアー」
を参考に**ボランティア輸送での実施に移行**



事業① 地域主体型交通の導入及び維持改善

■「地域主体型交通導入の手引き」の改訂

平成28年3月に「地域主体型交通導入の手引き」を策定してから、現在までの地域主体型交通が導入された実績や知見等を踏まえた時点更新を実施した。

●改訂内容

- ①実例を踏まえて地域主体型交通導入検討の流れを詳細に設定
- ②加西市の助成内容を明確にした上で収支の検討内容を詳細に設定
- ③運賃収入以外で収益を確保する方策を明記
- ④地域主体型交通導入前段階での目標利用者数の設定
- ⑤地域主体型交通（自家用有償旅客運送）の登録にかかる各種申請書の明示



■「地域主体型交通運営の手引き」の策定

導入後の運行・運営に関し、安全運行や利用促進施策、継続的な運行を行う知識や知見を身に付けてもらうことを目的に、運営の手引きを策定した。

●構成

- ①目的・運営の流れ
- ②安全運行に向けた日々の作業
- ③利用促進施策の検討・実施
- ④継続的な運行に向けた取組
- ⑤更新・変更登録にかかる申請書類の作成・提出



事業⑧ 鉄道輸送力を活用した利便性向上

■北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンの実施

北条鉄道の通勤定期利用者の増加と地域商業の活性化を図ることを目的に、3か月以上の通勤定期券購入者を対象に地域通貨「ねっぴ〜ポイント」の付与を実施

- 対象購入期間 R5.4.1～R6.3.31
※R5.8～申請受付開始

●キャンペーン概要

- ①新規購入者 定期金額の1/3相当額のポイントを付与
※最高31,000ポイント
- ②継続購入者 一律5,000ポイントを付与

●実績

- ①新規購入者 4件（市内2件、市外2件）
- ②継続購入者 11件（市内8件、市外3件）

・利用区間

- | | |
|-----|---------------|
| 1 位 | 北条町駅－粟生駅（80%） |
| 2 位 | 播磨下里－粟生駅（7%） |
| 2 位 | 法華口駅－粟生駅（7%） |
| 2 位 | 田原駅－粟生駅（7%） |

・購入期間

- | | |
|-------|----------|
| 6か月定期 | 12件（80%） |
| 3か月定期 | 3件（20%） |



キャンペーンチラシ

事業⑱ 免許返納者や乗り継ぎ利用者等に対する割引運賃制度の拡充に向けた検討

■ 免許返納者へのバス無料乗車券の配布

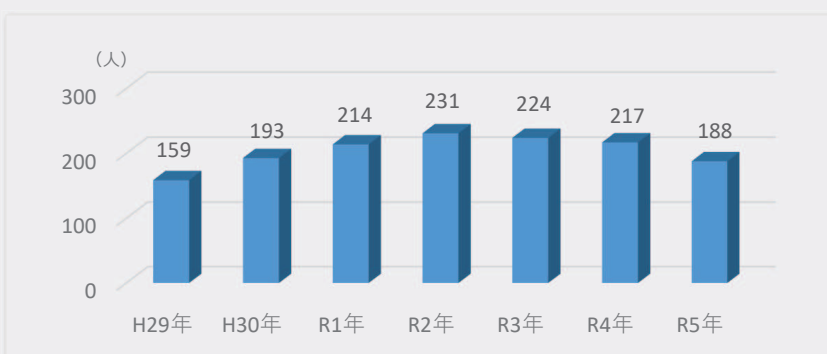
免許返納者に対して、加西市交通安全協会から「かさいおでかけナビ」とバス無料乗車券（赤券）を配布

● 免許返納者数

（単位：人）

H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
159	193	214	231	224	217	188

● 免許返納者数の推移



加西市内バス無料乗車券（赤）

事業⑳ 公共交通情報を総合的に発信

■ 加西市公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」の更新

北条鉄道や路線バス、コミバス等の時刻表や運行経路、乗換案内に加え、市内施設マップなど暮らしの便利情報を掲載した地域公共交通の総合ガイド「かさいおでかけナビ」の更新を実施。

各公共交通機関をマップ化することで、市内外への移動情報をわかりやすく提供し、公共交通の利用促進を図った。

- A4版（18,000部） ※全戸配布
- ポケット版（3,000部）



ポケット版



A4版

事業②⑩ 公共交通情報を総合的に発信
事業③⑧ インバウンド需要に対応した環境整備

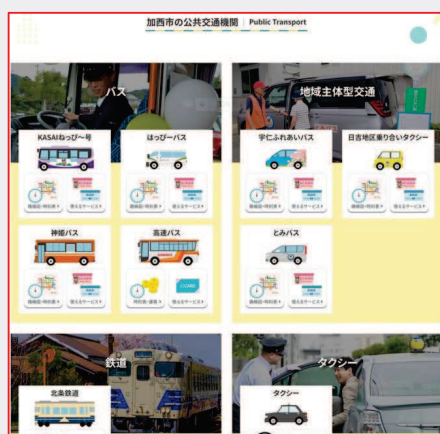
■ 公共交通総合ホームページの制作

市内の公共交通情報を集約し、市民、来訪者の属性・目的に合わせた情報提供を行うことで、公共交通へのアクセシビリティの向上、来訪者のカスタマージャーニーの最適化を目指す。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、R5年度は、ホームページの土台となるサイトの構築を実施し、加西市公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」のデジタル化を実施した。



テストサイト



市内公共交通機関の紹介「ダイヤ・運賃・サービスなど」



「お知らせ・運行状況・イベント」情報を発信



TOPページ

事業②⑧ 公共交通の必要性を考える場づくりの推進

■ 地域主体型交通運行管理者会議の開催

地域主体型交通を運行する3地域（宇仁・日吉・富田地区）の運行管理者と加西市で、各団体の取組や課題の共有、市からの情報発信など意見交換の場として定例会議を開催した。

○第1回会議（令和5年8月25日）

- ①取組報告・課題の共有
- ②市からの連絡事項
 - ・導入の手引きの改訂、運営の手引きの策定について
 - ・運転手更新講習について
 - ・運転手の健康管理について

○第2回会議（令和5年12月4日）

- ①取組報告・課題の共有
- ②市からの連絡事項
 - ・導入、運営の手引き（素案）の説明、意見交換
 - ・R6年度運営費補助金の経理について

○第3回会議（令和6年2月16日）

- ①意見交換
 - ・導入、運営の手引き（案）について
 - ・R6年度運営費補助金の経理について
 - ・年度末事務処理について
 - ・旅客の対象の拡大検討について



事業② モビリティ・マネジメント等の実施

■ おえかきバスの実施

コミバスKASAIねっぴ〜号の車両左側面を巨大なキャンパスに見立て、地域の子供達に自由にイラストを描いてもらい、公共交通を身近なものとして感じてもらうとともに、若年層の利用促進を目指した。また、神姫バス(株)の協力のもと、バスの乗り方教室を実施した。

【第1弾】日吉小学校PTA・子ども会主催 日吉小学校創立150周年記念イベント

日時：令和5年10月21日（土） 参加者：小学生約60人



【第2弾】北条東小学校PTA主催 6年生卒業記念イベント「未来のわたしたち」

日時：令和6年2月17日（土） 参加者：小学6年生約50人



事業③ 観光交通の導入・拡充・推進

■ 次世代モビリティの活用

多様な移動手段の確保に向け、電動キックボードの活用の可能性を検討した。



電動キックボードを活用した実証実験

1 市職員の公務移動（実証実験）

市役所職員の近距離移動（半径2km程度）に活用

①実証期間 6/28～7/28

利用登録者数 22人 延利用者数 30人

②実証期間 10/18～11/17（1回目で登録済みの者は引き続き利用可）

利用登録者数 2人 延利用者数 12人

市役所1階貸出しポート



2 試乗体験イベント

市主催イベントでの市民・来訪者向け試乗体験会の開催

①第46回加西サイサイまつり 8/6（日）15:00～19:00

延利用者 94人

②加西市健康まつり2023 10/15（日）9:00～13:00

延利用者 28人



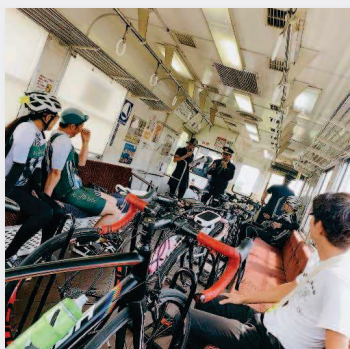
サイサイまつりでの試乗体験会

事業③⑦ 鉄道と自転車の連携による回遊促進

■サイクルトレインの実施

北条鉄道「フラワー2号」をサイクルトレインに改装し、鉄道と自転車を合わせた新しいお出かけスタイルを気軽に体験できるモニターツアーを開催

- 日 時 令和5年9月17日（日）
- 主 催 （一社）加西市観光協会
- 概 要 特別便にて3便を運行 ※各便9人募集
- 参加者 27人（応募者数78人）※当日2人欠席



サイクルトレインの車内



サイクリング風景

加西市地域公共交通計画（2023-2027）

Business Report for 2024

令和 6 年度 事業報告

加西市公共交通活性化協議会

① 地域主体型交通の導入及び維持改善（Ⅰ－１－①）

■ 地域主体型交通（公共ライドシェア）の運行

各地区から最も近い生活必須設備が揃う拠点までの公共交通を整備することで、拠点まで行けば日常生活が可能なサービスを、どの地区でも受けられるような交通体系の整備を目指し、地域主体型交通の運行支援を行う。



宇仁ふれあいバス



日吉地区乗り合いタクシー



とみバス

● 運転者更新講習の実施

地域主体型交通の運転者に対して、3年毎の更新講習を義務付ける。

R6年度受講対象者：6名（うにバス2名、ひよタク4名）

● 身体機能および認知機能チェックの実施

安全運行を行うため、運転者の定期的な身体機能や認知機能の確認を行う。

- 企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善（Ⅰ－２－④）
- ② 送迎負担の軽減に向けた取組推進（Ⅰ－２－⑤）
- 企業と連携した公共交通利用環境改善の推進（Ⅲ－１０－②）

■コミュニティバス路線・ダイヤの見直し

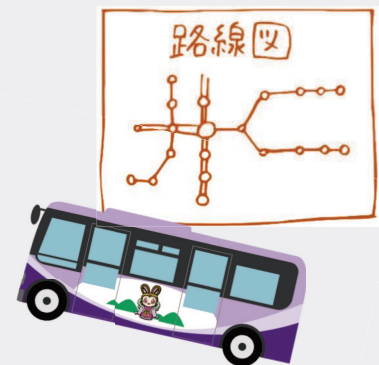
加西工業団地・加西東産業団地からの公共交通導入要望や、とこなべ工業団地バス停の利用状況の変化など加西市の公共交通をとりまく環境の変化に対応し、雇用機会の創出や地域経済の活性化などを目的として、コミュニティバスの路線・ダイヤの見直しの検討を行う。

●事業内容（実態把握にかかる調査）

- ①加西工業団地・加西東産業団地の企業・従業員へのアンケート調査
- ②プライムプラネットエナジー & ソリューションズ(株)及び従業員へのアンケート及びヒアリング調査
- ③とこなべ工業団地バス停利用者へのアンケート調査

●実施スケジュール

- ・R6年8～9月 アンケート調査の実施
- ・R7年1月 見直し方針案に係る協議
- ・R7年3月頃 見直し方針の決定
- ・R7年度 事業計画の作成や協議会による見直し内容の承認
- ・R8年4月～ 見直し内容での運行開始



③ 鉄道輸送力を活用した利便性向上（Ⅰ－４－⑧）

■北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンの実施

北条鉄道の通勤定期利用者の増加と地域商業の活性化を図ることを目的に、通勤定期購入者を対象に地域通貨「ねっぴ〜ポイント」の付与を実施

- 対象購入期間 R6.4.1～R7.3.31
- キャンペーン概要
 - ①新規購入者 定期金額の1/3相当額のポイントを付与 ※最高31,000ポイント
 - ②継続購入者 6か月定期：10,000ポイント ※新設
3か月定期：5,000ポイント
- 付与実績（R6年11月末時点）
 - ①新規購入者 10件（市内7件、市外3件）
 - ②継続購入者（6か月） 10件（市内6件、市外4件）
 - 〃（3か月） 3件（市内3件、市外0件）



<参考> R6年度キャンペーンチラシ

④ 需要に応じた交通結節点の整備（Ⅱ－6－⑫）

■ 北条鉄道北条町駅ベンチ更新

地域鉄道利用促進事業助成金を活用し、北条町駅ホームに設置されているベンチの更新を実施しました。既設ベンチは、長年の使用により老朽化が進んでいたため、新たにベンチ3台を整備することで、利用者が安心して利用できる環境整備を行っています。



⑤ 北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入（Ⅲ－10－⑳）

■ ICOCAシステムの導入

北条鉄道の利便性向上や利用促進を図るため、北条鉄道の接続路線である神戸電鉄粟生線、JR加古川線で利用されているICOCAシステムを導入する。

ICシステムの導入は、2年計画で実施

- ・R6年度・・・改札機の購入および要件定義
- ・R7年度・・・係員発行機・運用端末の購入と機器設置工事
ICOCAセンターサーバ改修、ICプログラム設計・検証・試験

項目	R6	R7
地上機器 ・改札機（10組）	機器購入	設置工事
地上機器 ・係員発行機（1台） ・運用端末（1台）	—	機器購入 設置工事
ICOCAサーバ改修	—	改修・試験
システム構築	要件定義	設計・検証・試験
金額	55,000千円	67,000千円



⑥ 公共交通情報を総合的に発信（Ⅲ－9－⑳） インバウンド需要に対応した環境整備（Ⅳ－13－㉔）

■ 公共交通総合ホームページ「NAVIGOかさい」の開設

市内の公共交通情報を集約し、市民、来訪者の属性・目的に合わせた情報提供を行うことで、公共交通へのアクセシビリティの向上と来訪者のカスタマージャーニーの最適化を目指す。

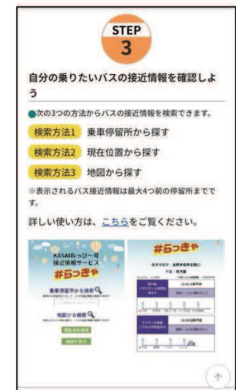
本サイトでは、毎年4月に発行している加西市公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」をデジタル化することで、リアルタイムな情報提供を行い、「新着情報」「沿線ガイド」「各種サービス」等の目的別に機能を整理し、利用者にわかりやすいサイトとしています。

また、英語翻訳機能を実装することで、外国人に向けてわかりやすい情報発信を行う。



＜参考＞ 周知用チラシ

- サイト公開日 令和6年10月1日（火）
- サイトイメージ

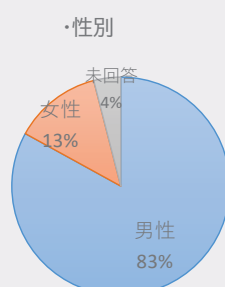
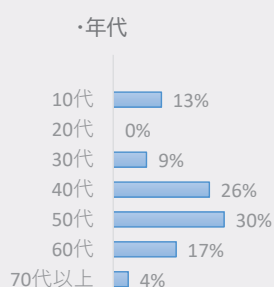
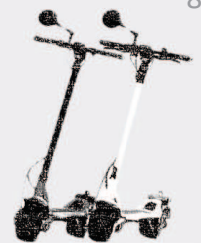


⑦ 観光交通の導入・拡充・推進（Ⅳ－12－㉓）

■ 電動キックボード体験試乗会の実施

多様な移動手段の確保による回遊性の向上や交通網の実現に向け、次世代モビリティの活用可能性について検討を進める。

- 開催日時 令和6年9月29日（日）9:30～13:00
- 会場 善防公民館周辺（第12回グリーンパークトライアスロン大会会場内）
- 内容 乗車体験、試乗後アンケートの実施
- 対象 16歳以上
- 料金 無料
- 参加者 24名



・電動キックボードに乗ったことはある？



・今後も利用したい？

